

プルサーマルを考える 対話フォーラム

石巻市、女川町の3会場で開催しました!



万石浦会場

平成21年
10月31日(土)

石巻市立万石浦中学校体育館

13:30▶16:10 参加者 約260名

パネリスト 慎重

元日本原子力研究所勤務
元中央大学商学部教授

館野 淳氏

パネリスト 推進

京都大学
原子炉実験所教授

山名 元氏



石巻会場

平成21年
11月11日(水)

石巻文化センター

18:00▶20:40 参加者 約310名

パネリスト 慎重

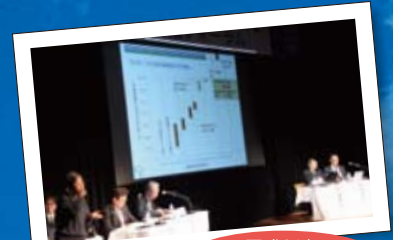
美浜・大飯・高浜原発に
反対する大阪の会代表

小山 英之氏

パネリスト 推進

北海道大学大学院工学研究科
エネルギー環境システム専攻教授

奈良林 直氏



女川会場

平成21年
11月28日(土)

女川町生涯教育センター

18:00▶20:35 参加者 約320名

パネリスト 慎重

原子力資料情報室
共同代表

伴 英幸氏

パネリスト 推進

筑波大学大学院
システム情報工学研究科教授

内山 洋司氏



ファシリテータ(進行役) 3会場とも

北村 正晴氏

東北大学名誉教授
東北大学未来科学技術共同研究センター教授



ファシリテータ(進行役) 3会場とも

藤原 充啓氏

東北大学大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻助教

昨年11月に、東北電力株式会社から、宮城県、女川町及び石巻市に、安全協定に基づいて、女川原子力発電所3号機におけるプルサーマル計画の申し入れがありました。その申し入れを受けて、宮城県、女川町及び石巻市では、地域住民等の方々へ、プルサーマルへの関心を高め、理解を深めていただく目的で、10月31日(土)の石巻市立万石浦中学校を皮切りに、3会場の会場において地域住民等の方々にご参加いただく形の「対話フォーラム」を開催いたしました。

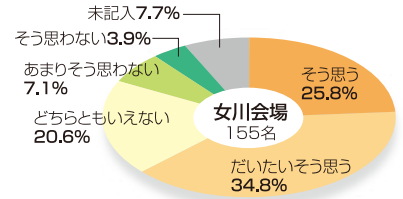
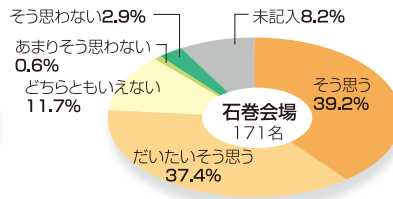
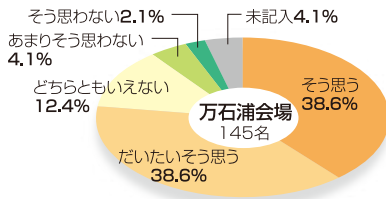
対話フォーラムでは、3会場のすべてにおいて北村正晴東北大学名誉教授、藤原充啓東北大学大学院工学研究科助教のおふたりにファシリテータとしてご参加いただき、全体の進行をお願いいたしました。

各会場ではまず、慎重、推進の立場の専門家であるパネリストから基調講演をいただいた後、専門家同士の討論を経て、来場された地域住民等の方々から直接質問をいただく形で質疑応答が行われ、寄せられた質問に対し講師等から回答をいただきました。

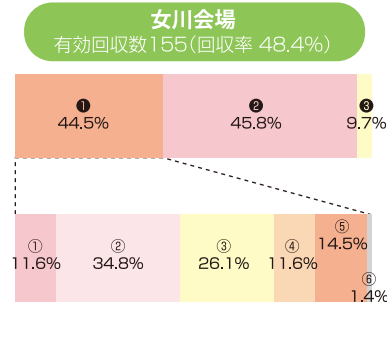
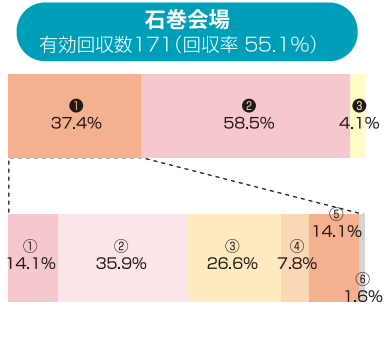
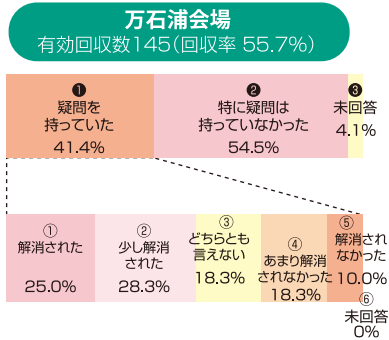
アンケートの結果(内容の理解度に関する項目)

※アンケート結果の詳細は県のホームページでご覧いただけます。

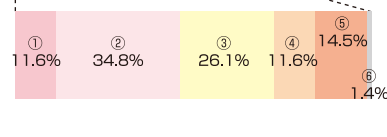
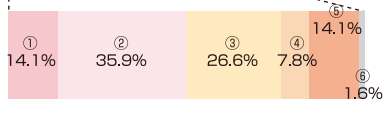
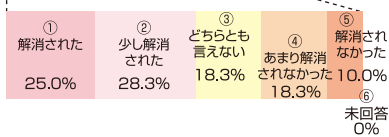
●今回の「対話フォーラム」でプルサーマルについて理解が深まりましたか。
(慎重論・推進論を問いません。)



●「対話フォーラム」に参加される前、プルサーマル計画に何か疑問をお持ちでしたか。



●「対話フォーラム」に参加されて、疑問は解消されましたか。



【主催】宮城県・女川町・石巻市

ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/gentai/>

考えてみませんか?プルサーマル

検索

今回の講演資料は、ホームページ「考えてみませんか?プルサーマル」でご覧いただけます。

講演 ①



パネリスト 佐々木 重 原子力資料情報室 共同代表

伴 英幸氏

ブルサーマルは 何のため誰のため?

■高速増殖炉が実用化できない今、ブルサーマルは不要

ブルサーマルの問題は原子力発電所が... プルトニウムを取り出すという行為が... 浮上してきているのがブルサーマルを...

最初が始まったのは1956年... 科学技術は随分発展してきましたが... プルトニウムを燃料として使ったブル...

講演 ②



パネリスト 推進 筑波大学大学院 システム情報工學研究科教授 内山 洋司氏

技術立国として生きる為 プルトニウム平和利用の必要性

■増え続ける世界のエネルギー消費

世界では非常に勢いでエネルギーの消費が... 2050年に向けての二酸化炭素の排出量を半減するという目標を掲げ...

また化石燃料の消費は、エネルギーの安定供給の面でも大きな問題です... プルトニウムを燃料として使ったブル...

ほかかつていますので、1kW当たり210万円と、普通の原発の7~8倍高い... 40年の間に、革新技術の採用やスケール...

ブルサーマルは高速増殖炉が実用化されるまで... 位置づけられていました... 実用化できないのですから、止めさせていただきます。

余裕の切り詰めとされています... モーメントがあるプルトニウム利用... MOXに關しては、既に1960年代から...

もうひとつの特性は核分裂反応の制御についてです... プルトニウムはウランに比べて中性...

ないだから導入すべきではないと... 最後は、ブルサーマルの原子炉で過酷事故... と呼ばれる大事故が起きたら...

また、配管は地中を這って... が破断されたら、何らかの形で地震による共...

子を取り除く、即ち制御種の効きが低下... 燃料出力が増加する傾向があります...



講演の一場面

射性廃棄物処分量の削減という非常に大きなメリットがあります... プルトニウムの推進に...

討論

ブルサーマルは... 高速増殖炉... 高レベル放射性廃棄物の削減... プルトニウムを燃料として使ったブル...

ブルサーマルは... プルトニウムを燃料として使ったブル... 高レベル放射性廃棄物の削減... プルトニウムを燃料として使ったブル...

ブルサーマルは... プルトニウムを燃料として使ったブル... 高レベル放射性廃棄物の削減... プルトニウムを燃料として使ったブル...

ブルサーマルは... プルトニウムを燃料として使ったブル... 高レベル放射性廃棄物の削減... プルトニウムを燃料として使ったブル...

まとめ

講演・討論 <伴先生>ブルサーマルは高速増殖炉導入のつなぎとして位置づけられているが、経済性... <内山先生>ブルサーマルの導入は、現状の原子炉に比べて安全対策が充実している...

質疑応答 Q1 未知の領域に踏み込むことへの考え方はどうか... Q2 プルトニウムは現在、原子炉でも燃えている... Q3 使用済みMOX燃料の貯蔵期間や安全性はどうか... Q4 使用済みMOX燃料は再処理の... Q5 電源開発に譲渡した分を考慮すると、どの程度運転できるか... Q6 当面は使用済み燃料を一時的保管し、最終処分場などが整ってから進めてはどうか... Q7 科学的実証試験をなぜ行わないのか... Q8 プルサーマルはオールジャパンで考えられている政策で、各社協力している... Q9 毎年0.2%程度使っていく... Q10 当分は使用済み燃料を一時的保管し、最終処分場などが整ってから進めてはどうか... Q11 技術の信頼性を高めるために、先送りせず継続的な努力が必要であり、次世代への責任と考える... Q12 再処理工場がうまくいかないことを考え、貯蔵計画を... Q13 世界全体の実績から実証はされている... Q14 私はブルサーマルをやめようという立場、進めるなら慎重に... 詳しくはHP(映像)をご覧ください。